

マイクロマシン/MEMS 分野関連 経済報告 2021年10月号

2021年10月4日
(一財) マイクロマシンセンター
(<http://www.mmc.or.jp/>)

マイクロマシン/MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

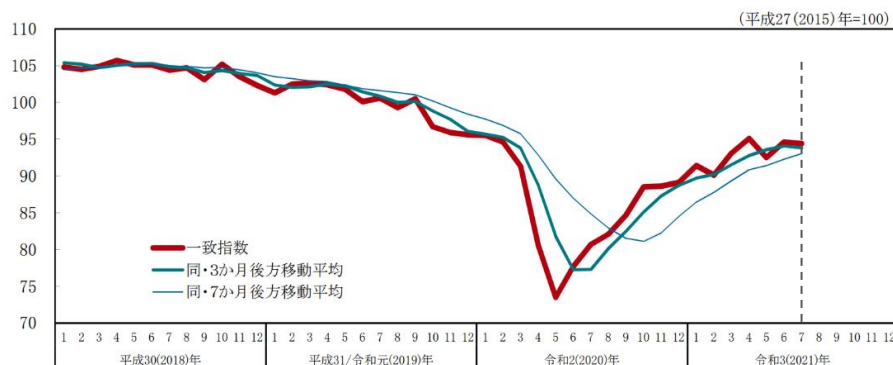
1. 全般動向

■ 景気動向指数 結果 令和3(2021)年7月分 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 7月分改訂版 (令和3(2021)年9月27日発表) (速報からの改訂状況) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202107rsummary.pdf>

- ① 7月分 CI (平成27(2015)年=100) (改訂値)は、
先行指数：104.1、一致指数：94.4、遅行指数：95.3
- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (CI 一致指数) は、改善を示している。

① 一致指数の推移



		令和3(2021)年					
		2月	3月	4月	5月	6月	7月
CI 先行指数		98.9	102.2	103.5	102.6	104.2	104.1
	前月差(ポイント)	1.0	3.3	1.3	-0.9	1.6	-0.1
CI 一致指数		90.1	93.1	95.1	92.5	94.6	94.4
	前月差(ポイント)	-1.3	3.0	2.0	-2.6	2.1	-0.2
CI 遅行指数		91.0	93.8	94.0	93.0	94.2	95.3
	前月差(ポイント)	-0.2	2.8	0.2	-1.0	1.2	1.1

▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 景気動向指数「令和3(2021)年7月分(速報)(9月7日公表)」pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202107psummary.pdf>

(公表資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202107report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（9月）（内閣府、令和3年9月16日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2021/09kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【下方修正】

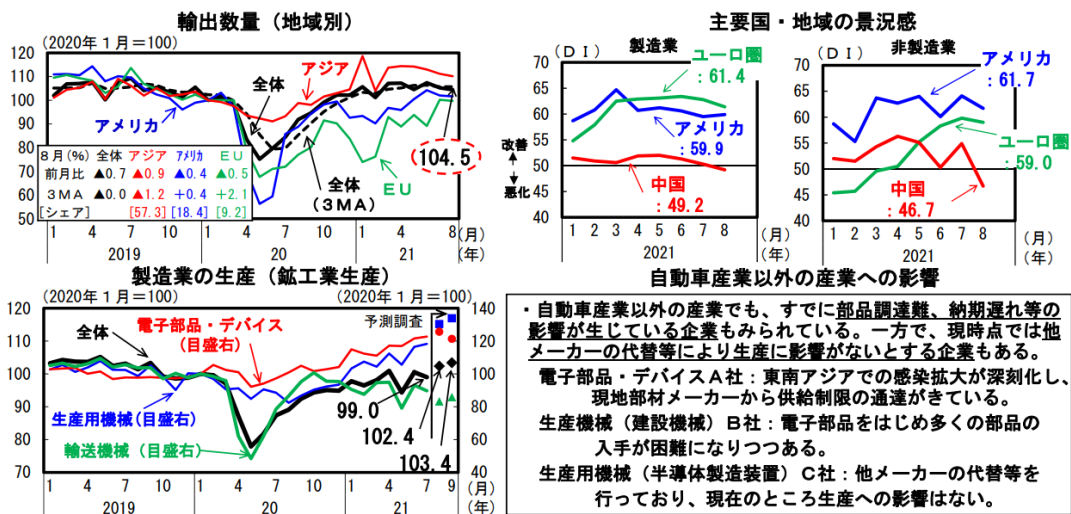
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

今月のポイント(3) 業況感・輸出・生産

- ▶ 我が国の輸出は緩やかな増加が続いている。また、製造業の生産は—PCの関連需要向けの電子部品・デバイスや設備投資向けの生産用機械を中心に持ち直し。しかしなこのPCに保存済み及び東南アジアでの感染拡大に伴う部品供給不足により、自動車等の輸送機械にはこのところ弱さがみられている。
- ▶ 主要国・地域の景況感をみると、改善テンポは鈍化。生産調整は、今後自動車産業以外にも広がる可能性があるなど、海外経済の動向や国際的なサプライチェーンを通じた影響に注意が必要。



(備考) 1. 左上図は、財務省「貿易統計(8月速報)」により作成。内閣府による季節調整値。EUは全期間にわたり英国を除く27か国ベース。各シェアは2020年の金額シェア。
2. 左下図は、経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整値。右下の情報は、各社公表情報等により作成。
3. 右上図は、アメリカは全米供給管理協会(ISM)、ユーロ圏及び中国はMarkitにより作成。非製造業は、ユーロ圏及び中国についてはサービス業景況感。

- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和3年9月）」(pdf)：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2021/0916getsurei/main.pdf>

■ 設備投資 令和3年7月実績：機械受注統計調査報告
 (令和3年9月15日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

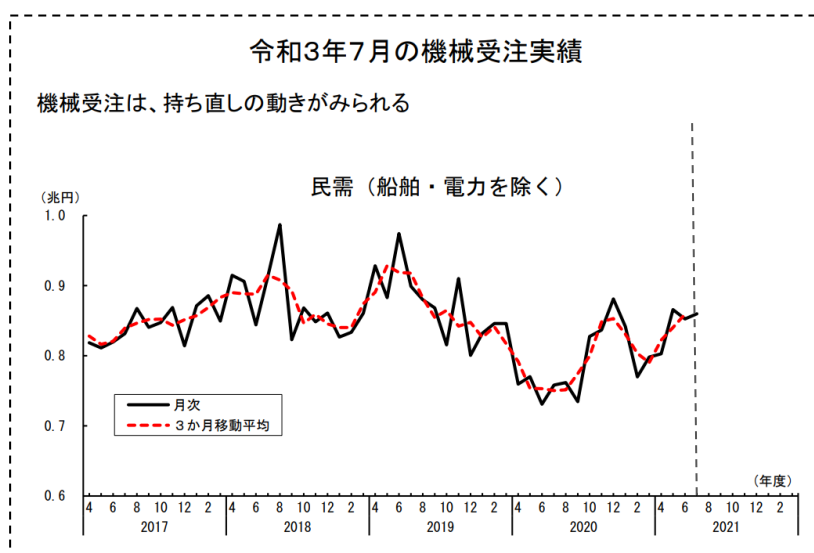
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2021/2107juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、
2021（令和3）年6月前月比6.6%減の後、7月は同11.7%増の2兆8,759億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比1.3%増の1兆54億円、官公需は同14.0%増の2,937億円、外需は同24.1%増の1兆5,148億円、代理店は同0.6%減の1,242億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2021（令和3）年6月前月比1.5%減の後、7月は同0.9%増の8,597億円となった。
このうち、製造業は同6.7%増の4,311億円、非製造業（除く船舶・電力）は同9.5%減の4,259億円となった。

（以下図表は「令和3年7月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋）

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2021/2107gaiyou.pdf>



対前月（期）比 (単位：%)

期・月 需要者	2020年 (令和2年)		2021年 (令和3年)			2021年 (令和3年)			
	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 見通し	4月 実績	5月 実績	6月 実績	7月 実績
受注総額	5.9	11.7	9.7	3.8	3.9	18.2	9.8	△6.6	11.7
民需	2.0	6.1	△7.4	6.7	2.4	3.7	8.5	△0.4	1.3
〃（船舶・電力を除く）	△0.3	12.9	△5.3	4.6	11.0	0.6	7.8	△1.5	0.9
製造業	3.1	11.4	△2.2	12.1	3.4	10.9	2.8	3.6	6.7
非製造業（除船・電）	△2.2	15.5	△9.2	△1.8	16.9	△11.0	10.0	3.8	△9.5
官公需	△10.7	1.8	△10.8	5.3	0.2	△2.7	3.1	△2.8	14.0
外需	23.2	19.7	31.4	3.6	6.7	46.2	11.4	△10.0	24.1
代理店	2.0	3.3	2.4	11.2	△1.1	8.4	2.8	3.7	△0.6
民需（船舶電力を除く） 3か月移動平均	-	-	-	-	-	4.0	2.2	2.3	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. △印は減少を示す。
 3. 見通しは2021年6月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 公表)

【2021年8月分】鉱工業指数の動向(速報)(2021年9月30日発表)より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202108sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202108sj.html

ー 生産は足踏みをしている ー

- ・ 今月は生産、出荷、在庫は低下、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、9月、10月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は足踏みをしている。

・生産は、前月比-3.2%の低下。

低下業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、生産用機械工業等

上昇業種：窯業・土石製品工業、無機・有機化学工業、石油・石炭製品工業

・出荷は、前月比-3.8%の低下。

低下業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業等

上昇業種：石油・石炭製品工業、輸送機械工業(除、自動車工業)

・在庫は、前月比-0.3%の低下。

低下業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、石油・石炭製品工業等

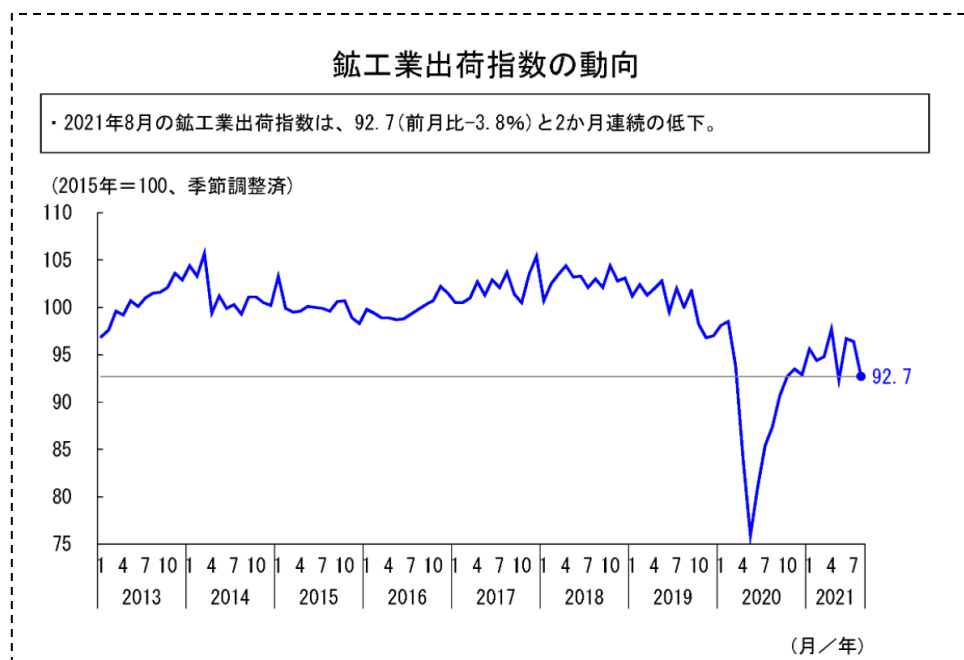
上昇業種：電子部品・デバイス工業、無機・有機化学工業、

窯業・土石製品工業等

8月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20210930_1.html

(解説) 8月の鉱工業生産は、自動車工業を中心に、電気・情報通信機械工業など多くの業種が低下したことを受けて、全体として前月比マイナス3.2%と2か月連続の低下。基調判断は、「生産は足踏みをしている」に引き下げ。



詳細は以下の**経済産業省 ホームページ**をご参照下さい。

鉱工業指数(最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2021年9月30日発表より抜粋)

【2021年7月動向概況】

- ・ 2021年7月のグローバル出荷額は3,670億円、前年比123.2%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品(前年比126.6% 1,740億円)、接続部品(同115.4% 851億円)、変換部品(同137.3% 593億円)、その他の電子部品(同111.5% 485億円)となった。
- ・ 地域別出荷は日本(前年比137.7% 843億円)、米州(同111.7% 348億円)、欧州(同119.5% 314億円)、中国(同116.4% 1,384億円)、アジア・その他(同128.5% 778億円)となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2021.09.30 発表: 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2021年度						2021年度累計		
	5月		6月		7月		4月-7月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,250	139	3,592	131	3,670	123	14,092	132	
(日本)	665	133	791	132	843	137	3,046	133	
品目別	受動部品	1,596	142	1,718	134	1,740	126	6,748	135
	コンデンサ	1,171	140	1,243	132	1,274	125	4,927	134
	抵抗器	143	141	160	144	156	138	611	140
	トランス	34	128	36	131	35	116	142	127
	インダクタ	238	150	272	140	267	129	1,040	140
	その他	8	256	6	132	6	113	27	130
	接続部品	743	143	824	124	851	115	3,237	129
	スイッチ	282	139	322	118	318	103	1,255	126
	コネクタ	457	146	499	128	530	124	1,970	132
	その他	2	102	2	113	2	125	11	110
	変換部品	482	137	535	134	593	137	2,158	137
	音響部品	90	136	111	130	99	107	402	125
	センサ	198	131	227	142	228	128	875	133
	アクチュエータ	193	143	196	127	266	163	881	149
	その他の電子部品	428	126	514	131	485	111	1,947	122
	電源部品	185	137	203	129	209	127	790	131
高周波部品	242	118	310	132	275	101	1,156	117	

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2021年度»

地域別出荷金額 (億円)	2021年度						2021年度累計	
	5月		6月		7月		4月-7月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,250	139	3,592	131	3,670	123	14,092	132
日本	665	133	791	132	843	137	3,046	133
米州	326	194	362	137	348	111	1,378	154
欧州	329	197	351	155	314	119	1,340	162
中国	1,241	120	1,355	121	1,384	116	5,363	118
アジア他	687	146	732	136	778	128	2,961	138

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上